

決算補足説明資料 2021年度 通期 業績概要

注意事項

- 当社は2020年5月28日提出の有価証券報告書より、会計基準の統一による経営管理の高度化および 資本市場における財務情報の国際的な比較可能性向上を目的として、国際財務報告基準(以下「IFRS」) を任意適用しております。
- 本資料に記載されている業績見通し等に関する将来の予測は、当社が現時点で入手可能な情報と、 合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により、この 見通しとは異なることがあります。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因には、当社の事業領域 を取り巻く国内外の経済情勢、当社製品・サービスに対する需要動向、為替・株式市場の動向などが あります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。
- 本資料に記載の数値は四捨五入にて表示しており、決算短信など他資料と異なる場合があります。
- 本資料の著作権は当社に帰属し、当社の事前の承諾なく複製または転用することを禁じます。

株式会社 安川電機 (TSE6506)

(対象期間:2021年3月1日~2022年2月28日)

© 2022 YASKAWA Electric Corporation

1. 2021年度 通期 連結業績

- 2021年度 通期 実績
- 主要事業の概要
- 事業セグメント別売上収益構成比
- 仕向先別売上収益,構成比
- 営業利益増減要因分析
- 2021年度における取り組み
- ●「Challenge 25 Plus」の進捗状況

2. 2022年度 通期 連結業績見通し

- 2022年度 通期 見通し
- 営業利益増減要因分析
- 2022年度における取り組み
- 株主還元(配当金推移)

3. 参考資料

- 設備投資・研究開発費,為替レート,感応度
- B/S構造の推移
- 連結売上収益·営業利益推移
- 四半期連結売上収益推移
- 四半期連結受注推移

セグメント別事業概要

モーションコントロール

【主要製品】

- ・ACサーボモータ、コントローラ
- ・リニアサーボ
- ・インバータ



コンバータ

U1000

ロボット

【主要製品】

- ・産業用ロボット
- アーク・スポット溶接・塗装用途向け
- FPD搬送・ハンドリング用途向け
- ・半導体製造装置用ロボット
- バイオメディカル用途向けロボット
- 人協働ロボット

など



システムエンジニアリング

【主要製品】

- ・鉄鋼プラント用電機システム
- ・上下水道用電気計装システム
- ・太陽光発電用パワーコンディショナ
- ·大型風力発電用電機品



鉄鋼プラント用 雷機システム



など

上下水道用 電気計装システム



太陽光発電用 パワーコンディショナ XGI1500 150kW



大型風力発電用 発電機とコンバータ

その他

物流サービス

など

GA500

GA700

YASKAWA

1.2021年度 通期 連結業績

2021年度 通期 実績

- ・コロナ禍からの正常化がグローバルで進み、製造業全般において設備投資が 拡大したことから、大幅な増収増益
- ・売上収益は過去最高を更新

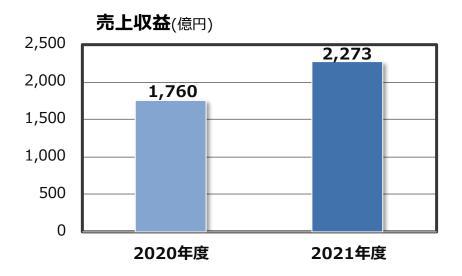
	2021年度	2020年度	前年同	期 比		
	実績	実績	増減額	増減率		
売上収益	4,791億円	3,897億円	+894億円	+22.9%		
営業利益	529億円	272億円	+257億円	+94.5%		
税引前利益	554億円	272億円	+282億円	+103.8%		
親会社の所有者に帰属する 当期利益	384億円	189億円	+194億円	+102.6%		

2021年度 通期実績(セグメント別)

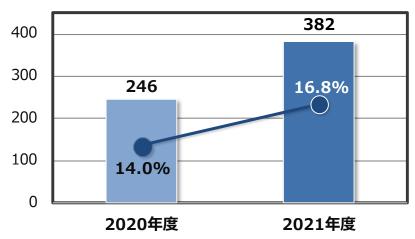
- ・半導体・電子部品市場がグローバルに拡大し、自動車市場における EV(電気自動車)化やリチウムイオン電池関連などの設備投資が加速
- ・主要セグメントにおいて大幅に増収増益

	20	21年度	2020	0年度	前年	同期比
(単位	立:億円) 実績	利益率	実績	利益率	増減額	増減率
売 上 収 益)1 /	3,897		+894	+22.9%
モーションコントロール	2,27	′3	1,760		+512	+29.1%
ロボット	1,78	37 /	1,395		+392	+28.1%
システムエンジニアリング	52	23	508		+15	+3.0%
その他	20	9	234		▲ 26	▲10.9%
営業利益	52	9 11.0%	272	7.0%	+257	+94.5%
モーションコントロール	38	16.8%	246	14.0%	+136	+55.3%
ロボット	17	2 9.7%	69	5.0%	+103	+149.7%
システムエンジニアリング		4.1%	▲10	▲2.0%	+32	-
その他		4 1.8%	3	1.3%	+1	+27.6%
消去または全社	AŞ	-	▲ 36	_	▲15	-

主要事業の概要 モーションコントロール



営業利益(億円) · 営業利益率(%)



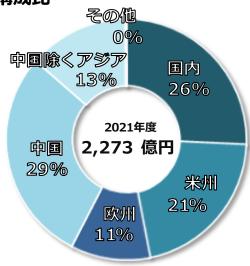
【売上収益】

- ACサーボでは、日・米・韓などで半導体・電子部品向け需要が高い水準で推移。中国ではリチウムイオン電池や5G 関連の需要が増加するなど、販売は好調
- インバータでは、グローバルな市況回復により大型空調 (HVAC)・クレーン・繊維向けを中心に販売は好調

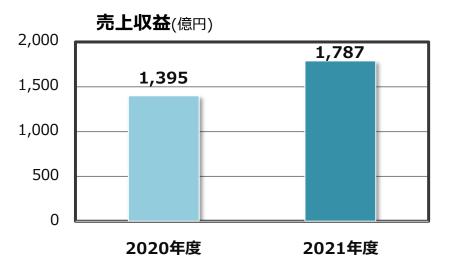
【営業利益】

原材料費や物流費の値上がりの影響を受けたものの、 売上の増加や新製品切り替え効果などにより増益

仕向先別売上収益構成比



主要事業の概要 ロボット



営業利益(億円)・**営業利益率**(%) 150 100 69 50 2020年度 2021年度

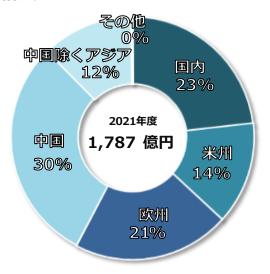
【売上収益】

- 自動車市場ではEV (電気自動車)化がグローバルで加速し、 新たな生産設備の投資を拡大する動きが継続
- 一般産業分野では労働力不足への対応や、生産の高度化・ 自動化を目的とした投資がグローバルで継続し、半導体・ 電子部品市場の需要拡大を背景に半導体ロボットも好調

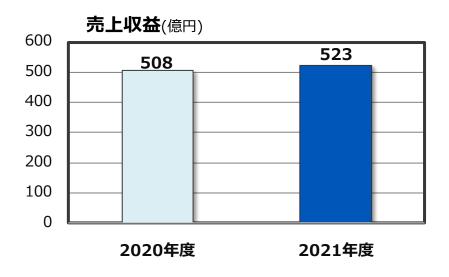
【営業利益】

• 売上増加や操業度の改善などにより営業利益は大幅に増加

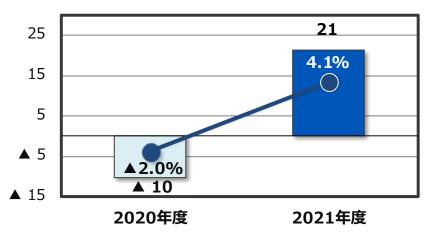
仕向先別売上収益構成比



主要事業の概要 システムエンジニアリング



営業利益(億円)・営業利益率(%)



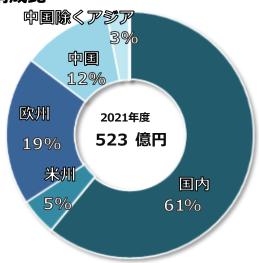
【売上収益】

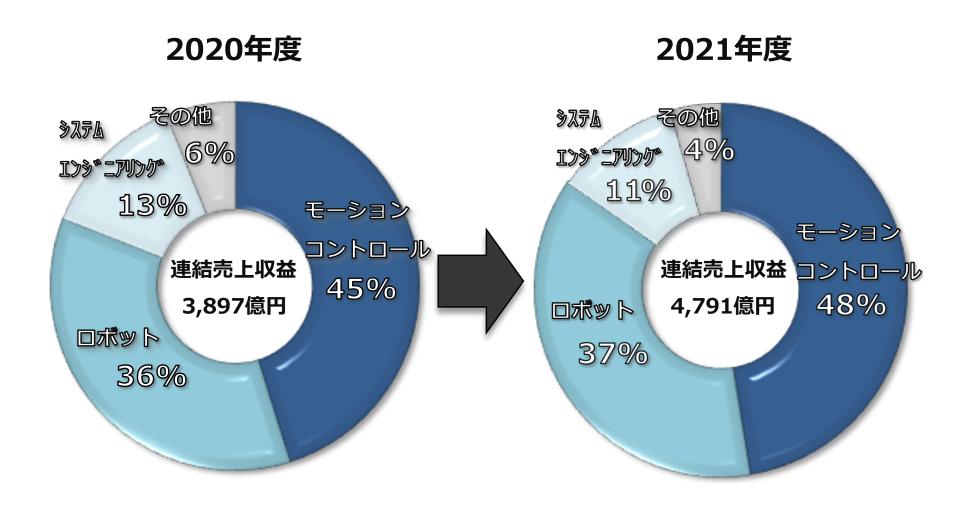
- アジアなどの港湾クレーン向けやリチウムイオン電池の 生産設備向けの需要が堅調な一方、国内における鉄鋼 プラント関連の売上は低調に推移
- コロナ禍からの正常化により上下水道用電気システム関連 は伸長し、大型風力発電用電機品の売上も増加

【営業利益】

• 前年度に発生した一時的な製品改修コストがなくなった ことに加え、採算管理の徹底や経費抑制の継続などにより 増益

仕向先別売上収益構成比



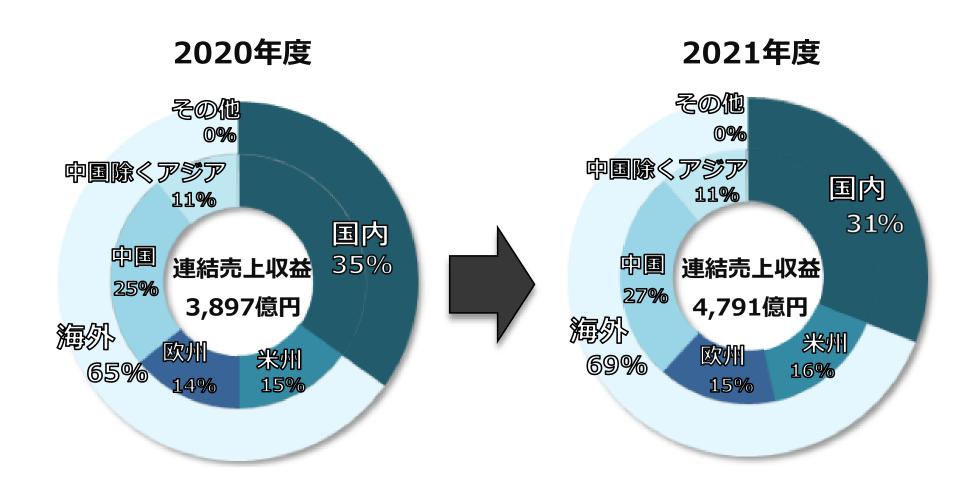


仕向先別売上収益(2020年度 → 2021年度)

・海外を中心に大幅な増収

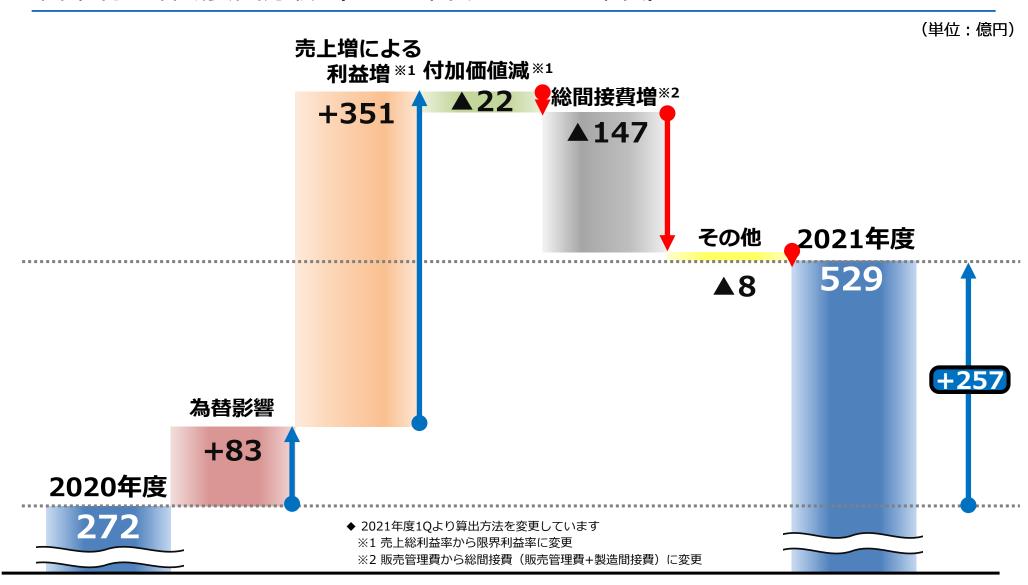
	2021年度	2020年度	前年	同期 比
(単位:億円)	実績	実績	増減額	増減率
売 上 収 益	4,791	3,897	+894	+22.9%
国内	1,482	1,359	+123	+9.0%
海外	3,309	2,538	+771	+30.4%
米州	753	589	+164	+27.8%
欧州	717	548	+169	+30.8%
中国	1,294	979	+314	+32.1%
中国除くアジア	541	418	+123	+29.3%
その他	5	3	+2	+71.8%

[注] 欧州には、中近東およびアフリカを含む



[注] 欧州には、中近東およびアフリカを含む

営業利益増減要因分析(2020年度 → 2021年度)



2021年度における取り組み①

≻ "i³-Mechatronics"のビジネスモデル確立

→ 開発力の強化

- ・安川テクノロジーセンタの本格稼働開始 (2021年9月)
- ・ J A 全農との業務提携による農業分野自動化への取組み加速 (2021年6月)
- ・2022国際ロボット展にて新型自律ロボットを参考出品 (2022年3月)



JA全農との業務提携 (いちごの選定)



新型自律ロボット

→ 生産力の強化

- ・日本と中国の主要工場*1で共通生産システムによる生産情報などの視える化実現(YDX)
 *1: ACサーボエ場(埼玉県入間市・中国瀋陽市)インバータエ場(福岡県行橋市・中国上海市)ロボット工場(福岡県北九州市・中国常州市)
- ・中国常州の新工場における生産立ち上げ(ロボットコントローラ・サーボ基板)_(2022年6月量産開始予定)

→ 販売力の強化

- ・"セル"を統合的に制御する "YRM-X(テン)コントローラ"の販売開始 (2021年6月)
- 業界最薄モータ長のエコPMモータフラットタイプ(IE5 *2)を販売開始
 *2:国際電気標準会議(IEC) が定めるモータのエネルギー効率に関する国際規格。IE5は最も高効率
- ・ショートアーム仕様の10kg可搬人協働ロボット「HC10SDTP」を販売開始
- ・食品加工用途向け小型ロボット「GP8」を販売開始
- ・ロボット年間保全サービスのトライアル提供開始



MOTOMAN-HC10SDTP

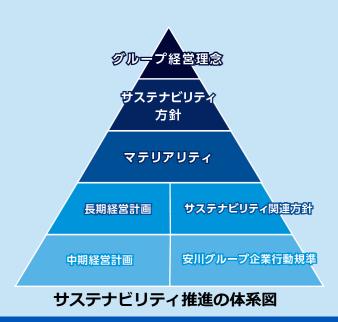
2021年度における取り組み②

- ▶ サステナブルな社会/事業に寄与する経営基盤の強化
 - → 社会のサステナビリティに寄与する取り組みの強化に向けて方針を策定 (2021年3月15日)

サステナビリティ方針

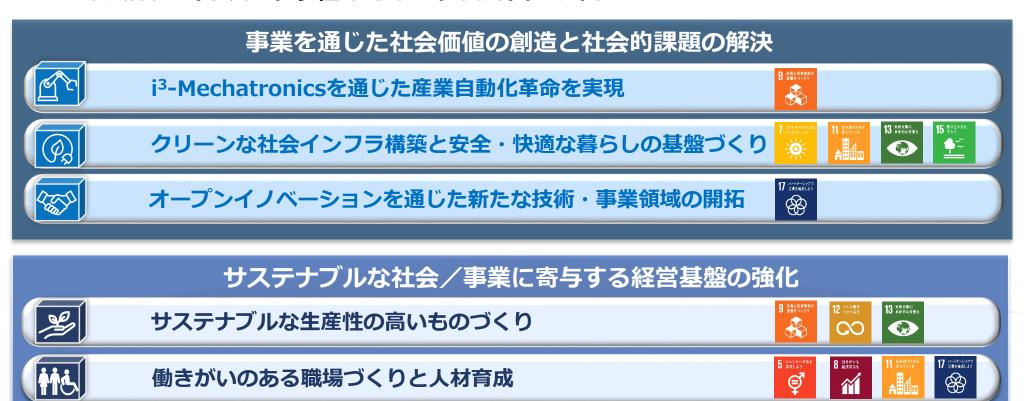
私たちは、安川グループの経営理念である「事業の遂行を通じて広く社会の発展、 人類の福祉に貢献すること」を基本的な考え方として、その実践を通じて持続可能な 社会の実現と企業価値の向上に努めます。

- 1. 最先端のメカトロニクス技術によるイノベーション創出で、お客さまをはじめ社会への価値創造に貢献します。
- 2. 世界中のステークホルダーとの対話と連携を通じ、公正かつ透明性の高い信頼ある経営を実現します。
- 3. 世界共通の目標であるSDGsの達成を目指し、 グローバルでの社会的課題の解決に取り組みます。



2021年度における取り組み③

- ▶ サステナブルな社会/事業に寄与する経営基盤の強化
 - →サステナビリティ方針に基づきマテリアリティを特定し、 その解決に向けた取り組みを中期経営計画に展開

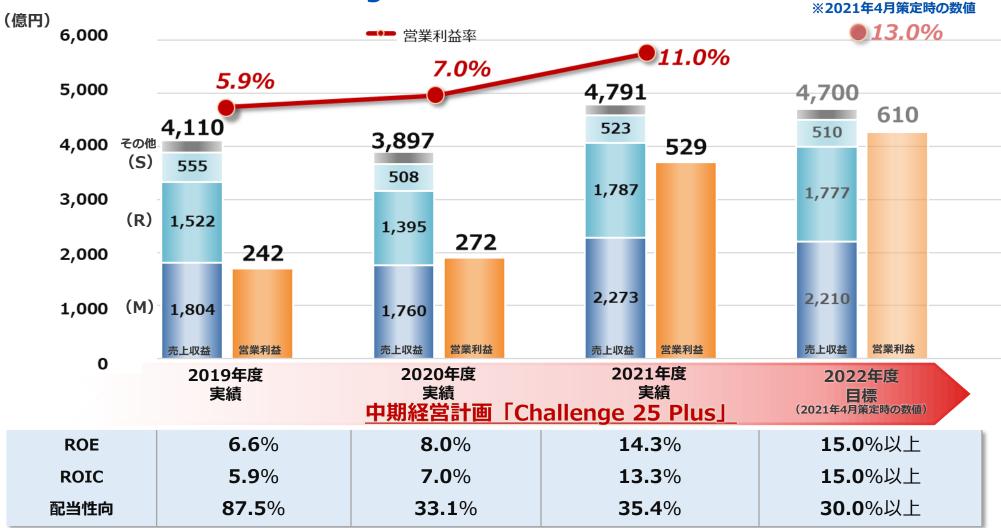


Y

公正かつ透明性の高いガバナンス体制

「Challenge 25 Plus」の進捗状況

中期経営計画「Challenge 25 Plus」の売上収益目標※を1年前倒しで実現



[注] 2019年度実績におけるセグメント別売上収益は、セグメント区分見直し後の数値を使用

[注] 表記: (M) = モーションコントロール、(R) = ロボット、(S) =システムエンジニアリング

YASKAWA

2. 2022年度 通期 連結業績見通し

2022年度 通期 見通し

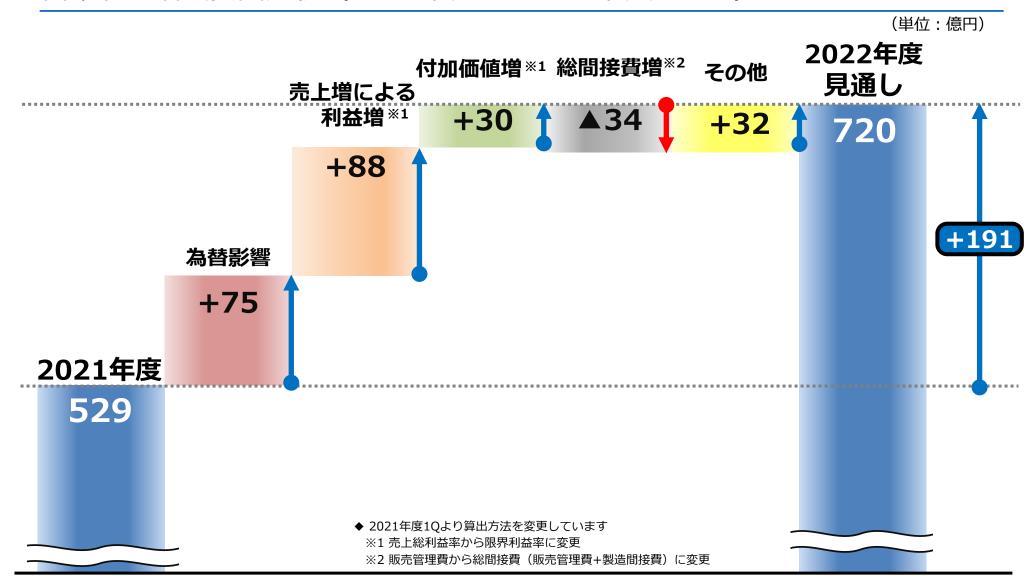
・先行きに不透明感があるものの、需要環境はグローバルで高水準に継続すること を想定し、ロボットなど主力事業を中心に増収増益を計画

	2022年度	2021年度	前年同	期比
	見通し	実績	増減額	増減率
売上収益	5,250億円	4,791億円	+459億円	+9.6%
営業利益	720億円	529億円	+191億円	+36.2%
税引前利益	740億円	554億円	+186億円	+33.6%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	525億円	384億円	+141億円	+36.9%

2022年度 通期 見通し (セグメント別)

		2022	2年度	2021	年度 前年		同期比
	(単位:億円)	見通し	利益率	実績	利益率	増減額	増減率
売上	収益	5,250		4,791		+459	+9.6%
	モーションコントロール	2,470		2,273		+197	+8.7%
	ロボット	2,040		1,787		+253	+14.2%
	システムエンジニアリング	530	530	523		+7	+1.4%
	その他	210		209		+1	+0.5%
営業	利益	720	13.7%	529	11.0%	+191	+36.2%
	モーションコントロール	453	18.3%	382	16.8%	+71	+18.7%
	ロボット	264	12.9%	172	9.7%	+92	+53.1%
	システムエンジニアリング	21	4.0%	21	4.1%	▲0	▲1.3 %
	その他	3	1.4%	4	1.8%	▲1	▲21.9%
	消去または全社	▲21	_	▲ 51	_	+30	=

営業利益増減要因分析(2021年度 → 2022年度見通し)



2022年度における取り組み

▶ "i³-Mechatronics"のビジネスモデル確立

→ 開発力の強化

・安川テクノロジーセンタにおける開発〜生産の コンカレントな仕組みの構築

→ 生産力の強化

- ・部品の調達力強化と内製化拡大による生産力向上
- ・サプライチェーン改革による安定的な部品確保の実現

→ 販売力の強化

- ・国内営業体制の再編とパートナーとの連携強化
- ・新製品(ACサーボドライブΣ-X、YRM-Xコントローラ、人協働ロボットなど) による成長市場の攻略

テデジタル経営の推進

・製品ライフサイクル(開発・生産・販売・サービス)の業務データをつなぎ、 お客さまへ新しい価値を提供するための改革を具体化(YDX*-II)

▶ サステナブルな社会/事業に寄与する経営基盤の強化

・グループ経営理念の理解深化によるサステナブルな企業体質への変革

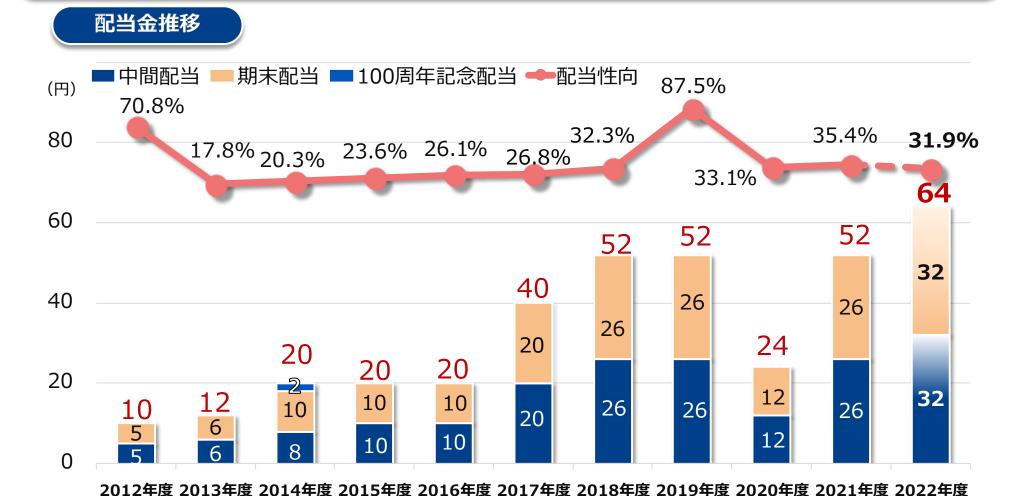
*YDX: YASKAWA digital transformationの略。YDX-Iでは、経営資源の可視化・一元化とその最適配置を目指した活動を実施



安川テクノロジーセンタ

株主還元 (配当金推移)

・2022年度は前年度から12円増配となる年間64円/株の配当を予定



YASKAWA

(予定)

YASKAWA

3. 参考資料

設備投資・研究開発費,為替レート,感応度

設備投資・研究開発費の状況

(単位:億円)

	2020年度(実績)	2021年度(実績)	2022年度(計画)
設備投資額	227.9	241.8	290.0
減価償却費	160.9	174.8	180.0
研究開発投資	178.5	181.8	190.0

為替レート

※ 為替レートは、期中平均レートを記載

(単位:円)

	2020年度(実績)			202	1年度(実績)	2022年度 (想定)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	通期		
対 米ドル	107.2	104.7	106.0	109.5	113.5	111.5	120.0		
対 ユーロ	120.4	125.3	122.8	130.8	130.1	130.4	133.0		
対 元	15.23	15.87	15.55	16.92	17.77	17.33	19.00		
対 ウォン	0.089	0.093	0.091	0.097	0.096	0.096	0.100		

為替感応度

(単位:億円)

	1%変動による影響額 (2021年度_通期)								
	売 上 収 益	営業利益							
米ドル	約 8.7	約 2.1							
ユーロ	約 7.4	約 2.0							
元	約 12.2	約 4.2							
ウォン	約 2.4	約 1.7							

B/S構造の推移

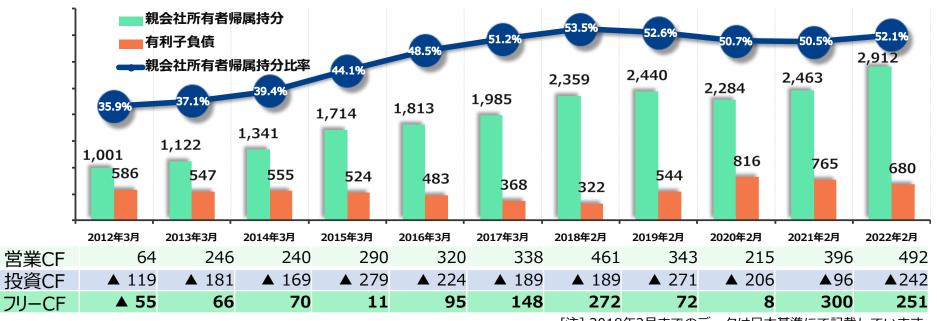
2021年2月28日時点

- ▶ 親会社所有者帰属持分比率 50.5%
- ▶ 親会社所有者帰属持分 2,463億円
- ▶ 有利子負債 765億円
- D/Eレシオ 0.31 (ネットD/Eレシオ) 0.10
- → 棚卸資産 1,015億円 (回転月数) (3.1ヶ月)
- ➤ ROE 8.0%
- ➤ ROIC 7.0%

2022年2月28日時点

- ▶ 親会社所有者帰属持分比率 52.1%
- ▶ 親会社所有者帰属持分 2,912億円
- ▶ 有利子負債 680億円
- D/Eレシオ 0.23 (ネットD/Eレシオ) 0.04
- ▶ 棚卸資産 1,318億円 (回転月数) (3.3ヶ月)
- ➤ ROE 14.3%
- ➤ ROIC 13.3%

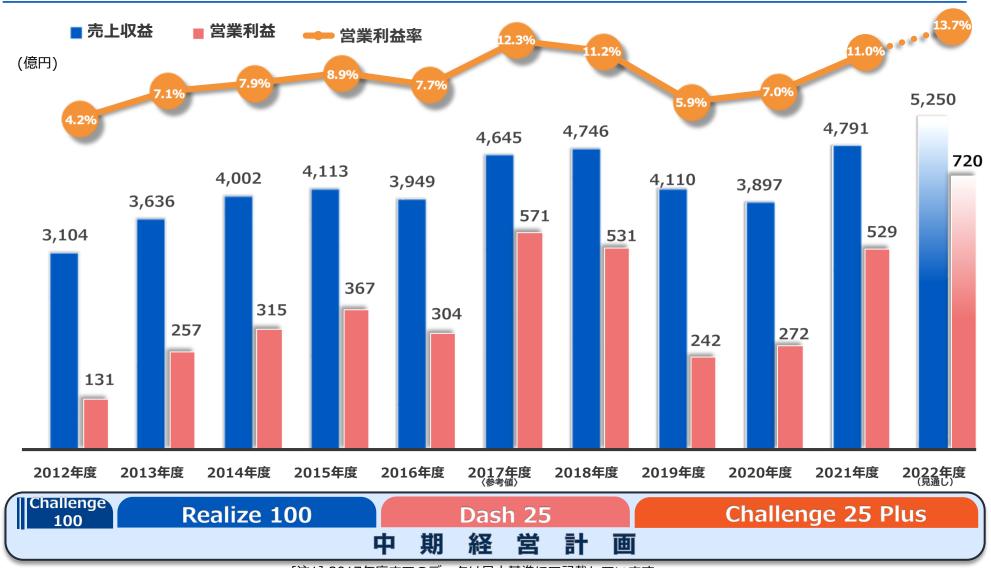
- ※ 有利子負債はリース債務を含む
- ※ 棚卸資産回転月数の計算には 棚卸資産の期末値を使用
- **※** ROE
- =親会社株主に帰属する 当期純利益÷((前期末自己資本 +当期末自己資本)÷2)
- **※** ROIC
- =親会社株主に帰属する 当期純利益÷投下資本



[注] 2018年2月までのデータは日本基準にて記載しています

(億円)

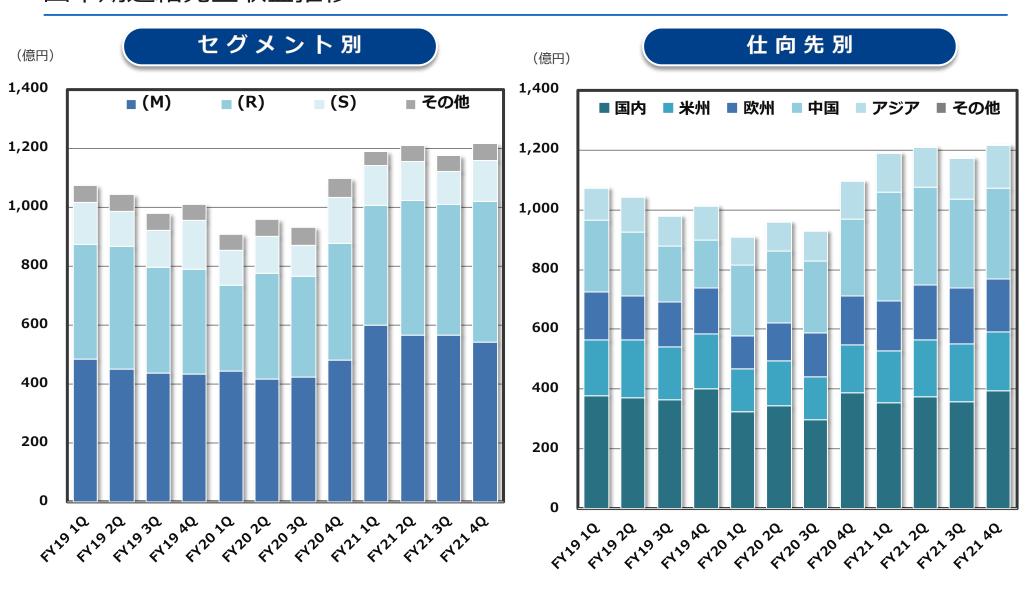
連結売上収益・営業利益推移(2012年度~2022年度見通し)



[注1] 2017年度までのデータは日本基準にて記載しています

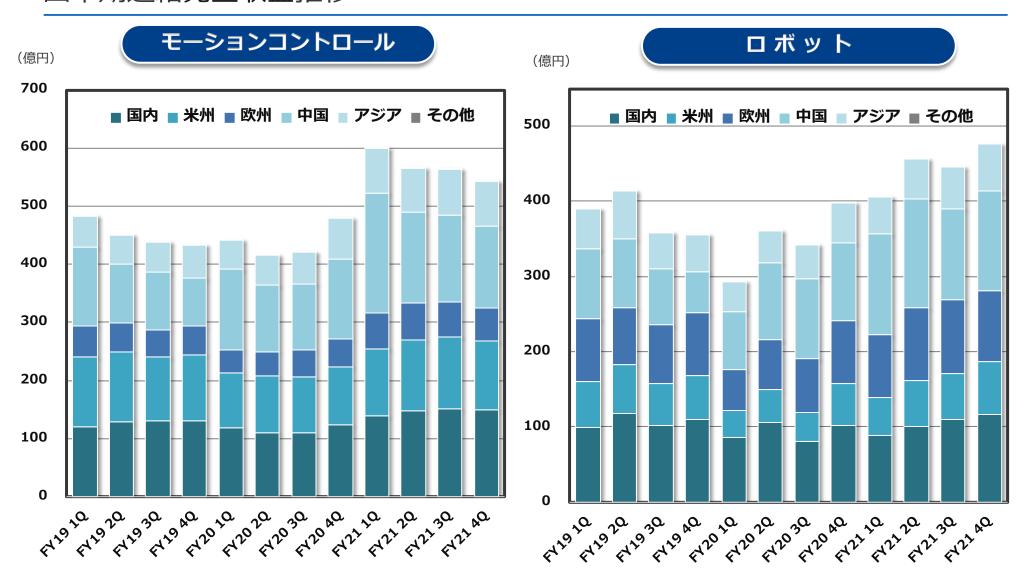
[注2] 2017年度通期実績は、対象期間を2017年3月21日~2018年3月20日に置き換えた〈参考値〉にて記載

四半期連結売上収益推移

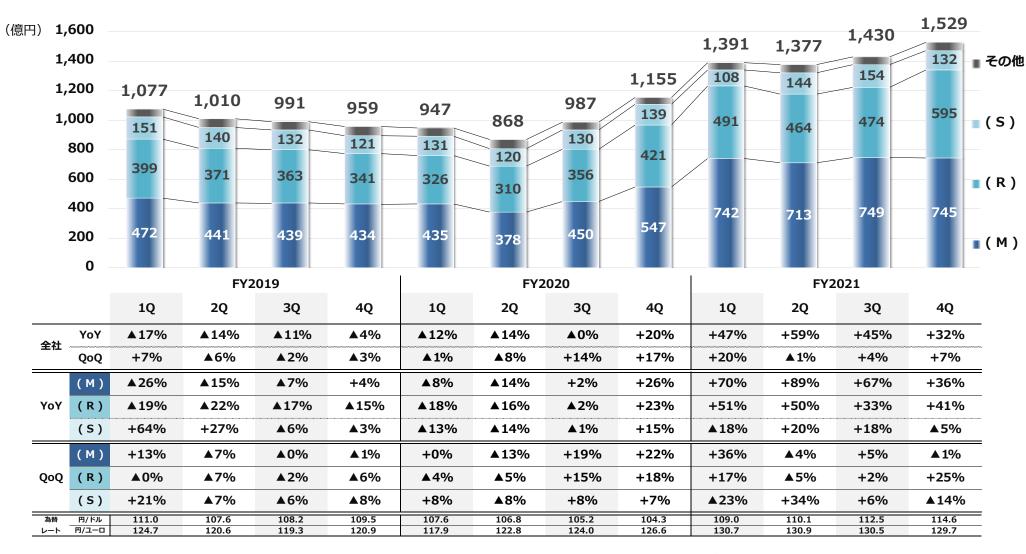


[注] 表記:(M)= モーションコントロール,(R)= ロボット,(S)=システムエンジニアリング

四半期連結売上収益推移



四半期連結受注推移(セグメント別) ※為替は期中平均レートを使用



[注] 表記: (M) = モーションコントロール, (R) = ロボット, (S) = システムエンジニアリング

四半期連結受注推移(仕向先別)

※為替は期中平均レートを使用

意円)	1,600									1 201	4 227	1,430	1,529	
	1,400									1,391	1,377	164	181	
	1,200	1,077	1,010	001				007	1,155	161	152		353	
	1,000	119	113	991	959	947	868	987	153	403	350	317		
	800	260	200	194	117 164	105	89	248	265	222	212	222	245	
	600	192	126	161	127	257	226	164	177	223	231	237	283	
	400	178	186	172	179	140 127	112 135	144	181	219				
	200	328	385	364	373	318	306	322	376	383	432	490	466	
	0											224		
			FY2	.019			FY2	2020			FY2	021		
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
全 :	YoY 社	▲17%	▲14%	▲11 %	▲ 4%	▲12%	▲14%	▲0%	+20%	+47%	+59%	+45%	+32%	
	QoQ	+7%	▲ 6%	▲2%	▲3%	▲1%	▲8%	+14%	+17%	+20%	▲1%	+4%	+7%	
	国内	▲15%	+1%	▲ 4%	+6%	▲3%	▲20%	▲11%	+1%	+21%	+41%	+52%	+24%	
	米州		▲8 %	▲21%	▲5 %	▲28%	▲28%	▲16 %	+1%	+72%	+71%	+64%	+56%	
Yo	Y 欧州	+7%	▲33%	▲19%	▲13%	▲27%	▲11%	+2%	+39%	+59%	+89%	+36%	+39%	
	中国	▲22%	▲21%	▲3 %	▲15%	▲1%	+13%	+28%	+62%	+57%	+55%	+28%	+33%	
	アジフ	7 ▲30%	▲20%	▲18%	▲7 %	▲12%	▲21%	+8%	+31%	+54%	+71%	+51%	+18%	
	国内	▲7 %	+17%	▲ 5%	+3%	▲15%	▲ 4%	+5%	+17%	+2%	+13%	+13%	▲ 5%	
	米州	▲ 6%	+5%	▲8 %	+4%	▲29%	+6%	+7%	+26%	+21%	+5%	+3%	+20%	
Qo	Q 欧州	+32%	▲ 34%	+27%	▲21%	+10%	▲20 %	+46%	+8%	+26%	▲ 5%	+5%	+10%	
	中国	+35%	▲23 %	▲ 3%	▲16 %	+57%	▲12 %	+10%	+7%	+52%	▲13%	▲ 9%	+11%	
	アジフ	7 ▲5%	▲ 5%	▲11 %	+16%	▲10%	▲15 %	+22%	+41%	+6%	▲ 6%	+7%	+11%	

■その他

■ アジア

■中国

■ 欧州

■ 米州

■国内

YASKAWA